

事業名	障害福祉諸費			調書番号	22
細事業名	ふれあい創作活動支援事業費	財務コード	080404		
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 地域生活支援 担当 (内線)	3219			

事業の概要

実施期間	始期 H11 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 在宅障害者	その対象をどのような状態にして 障害者の芸術文化活動に係る指導者を派遣することで、在宅障害者の芸術文化活動への意欲が高まっている	結果、何に結びつけるのか 障害者の自立と社会参加の促進
	内容 在宅の障害者を対象に、絵画、陶芸及び手芸などの創作活動を支援する指導者を養成、派遣し、創作活動を支援することにより、在宅障害者の芸術文化の活性化を図り、日常生活を豊かなものとする 委託先 (福)山梨県障害者福祉協会 ふれあい創作活動支援指導者研修会の実施(平成29年2月2日) ふれあい創作活動支援指導者の派遣(平成28年度派遣回数 65回)		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	指導者派遣回数	目標	65	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
		実績(見込)	78	74.0	65.0	78.0	65.0	65.0
		達成率	120.0	114.0	100.0	120.0	100.0	100.0
		達成区分	a	b	b	a	b	b
成果指標		目標						
		実績(見込)						
		達成率						
		達成区分						
決算(予算) 単位:千円		403	403	414	414	353	414	414

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価 指導者派遣をきっかけに、創作活動の機会を得た障害者も多く、障害者文化展などの発表の機会では年々作品の質も向上するとともに、障害者自身の文化芸術活動への参加意識も高まっている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	潜在的な需要は高いと考えられるため、本活動を継続的に続けていくことで、より多くの障害者に文化芸術活動の機会を与えることができ、障害者の社会参加に繋がる。
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	
見直しの必要性	有	指導者の障害への理解を深めるための講座を指導者研修に取り入れるなど研修内容の充実を図る。 障害者文化展や障害者芸術・文化祭との連携を強化することで、作品等の製作だけに終わることなく、発表まで一元的に繋げる体制を整えることで、より多くの障害者が自己表現を通じた社会参加が行えるよう支援する。 また、障害者の芸術文化活動の裾野を広げることに留まらず、才能ある作家などの「発掘」にも注力する。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	指導者の障害への理解を深めるための講座を指導者研修に取り入れるなど研修内容の充実を図る。 障害者文化展や障害者芸術・文化祭との連携を強化することで、作品等の製作だけに終わることなく、発表まで一元的に繋げる体制を整えることで、より多くの障害者が自己表現を通じた社会参加が行えるよう支援する。 また、障害者の芸術文化活動の裾野を広げることに留まらず、才能ある作家などの「発掘」にも注力する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。